

学校教育係

効果的な少人数指導の工夫

管内の学校では、少人数指導に積極的に取り組み様々な成果を上げています。しかし、「予想した効果が上がらない」という声も聞かれます。そこで、「子どもの様子をみとり、指導に生かす」という視点から指導の充実を図る例を紹介します。
《小学校3年生:算数科『分数のたし算とひき算』(全3時間予定)》

① 計算に習熟させるために、始めから二つのコースに分けて、基礎コースの子どもには計算練習を中心に指導するのでしょうか。

② 学習指導要領では、「計算の習熟」ではなく、「計算の仕方」を考えることが主なねらいとなっていますので、まずは、子どもたちが説明している様子を見とる必要がありますね。



③ では、第1時はTTによる一斉指導を行い、子どもたちが説明しているかどうかを二人で見とることにしてはどうでしょうか。

④ そうですね。私が発言している子どもたちを見とりますので、先生は、発言のない子どもたちを、支援しながらみとってください。

第1時 $\frac{3}{10} + \frac{2}{10}$ の計算の仕方を式や図を使って考え、説明しましょう。

$\frac{3}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が三つで、 $\frac{2}{10}$ は二つだから、たすと $\frac{1}{10}$ が五つになります。



そうか。ということは答えは $\frac{5}{10}$ だね。

Bくんは、Aさんの説明を聞いてわかったようだけれど、計算の仕方を説明していないな。

Cくんには図を示したけれど、計算の仕方を考えられないようね。

⑤ 残りの2時間の少人数指導では、Aさんには減法の見通しをもたせてから、説明させます。できれば計算のまとめもさせたいですね。



⑥ 私は、Bくんにも、Cくんにも、自分ができていないところから取り組ませます。そして、必ず説明する場面を設定したいと思います。

第2時 減法の計算の仕方を説明しましょう。

第2時 加法の計算の仕方を説明しましょう。

$\frac{4}{5} - \frac{1}{5}$ の計算の仕方を説明してください。



分子の数を考えれば、たし算と同じように説明できそうだな。

Aさんは、分数の加減の計算の仕方をまとめられそうだな。

Bくんは、自分の言葉で計算の仕方をノートに書いてください。そして、わかりやすく説明してください。



Cくんは、図に色を塗ったり、図が表す大きさを分数にしたりしながら考えてください。

図をかくと説明しやすいな。



図のここが $\frac{1}{10}$ ということだから…。

第3時 仮分数になる加法の計算の仕方の説明にも挑戦しましょう。

第3時 減法の計算の仕方を考え、分数の加減の計算の仕方をまとめましょう。